

【報道関係者各位】

2019年12月27日
国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
株式会社エーアイ

奈良先端科学技術大学院大学初のネーミングライツ 株式会社エーアイとネーミングライツに関する協定を締結 「エーアイ大講義室」が誕生

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（所在地：奈良県生駒市、学長：横矢直和、以下NAIST）は、株式会社エーアイ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：吉田 大介、証券コード：4388、以下エーアイ）と2019年12月5日にネーミングライツに関する協定を締結したことをお知らせします。これにより、2020年1月からNAISTの情報科学棟大講義室の愛称が「エーアイ大講義室（英語名：AI, Inc. Seminar Hall）」となります。

NAISTでは、教育研究環境の向上を目的として、新たな財源の確保と自己収入の拡大促進を図るため、ネーミングライツ（命名権）制度を設け、ネーミングライツ・パートナーを募集いたしました。今回のエーアイとの協定締結はNAISTのネーミングライツ・パートナー第1号となります。

エーアイは、NAISTの所在地である、けいはんな学研都市に研究開発拠点を置いて音声合成の研究を推進しています。また、社内でのNAIST卒業生の活躍も顕著で、新時代を担う人材育成の一助とするために本ネーミングライツを取得いたしました。

本協定を機にNAISTとエーアイは、「エーアイ大講義室（英語名：AI, Inc. Seminar Hall）」の愛称が多くの皆様に定着することに努め、教育研究環境の一層の充実に取り組み、産学連携を推進し、これからの社会に求められる高度な次世代人材の育成に貢献していきたいと考えております。



エーアイ大講義室前でNAIST横矢直和学長（左）とエーアイ吉田大介社長（右）

■ネーミングライツの概要

- ・愛称：エーアイ大講義室（英語名：AI, Inc. Seminar Hall）
- ・対象施設：奈良先端科学技術大学院大学情報科学棟1階大講義室
- ・協定期間：2020年1月1日～2024年12月31日

■ 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）について

奈良先端科学技術大学院大学は、学部を持たない新構想の大学院大学として1991年に誕生しました。情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3分野とその融合領域において世界レベルの研究を推進するとともに、体系的な大学院教育カリキュラムによる組織的な人材育成を行っています。文部科学省の「研究大学強化促進事業」「スーパーグローバル大学創成支援事業」により研究力を一層強化するとともに、2018年度からは融合領域教育の強化に重点をおいた先端科学技術研究科からなる1研究科体制へ移行しました。2019年3月に決定した大学マスコットキャラクターNASURA（ナスラ）の広報展開や、ネーミングライツ・パートナー制度などの新しい取り組みもスタートさせ、更なる大学ブランディング強化を推進していきます。

ホームページURL：<https://www.naist.jp/>

■ 株式会社エーアイについて

株式会社エーアイは音声合成に特化し、自社内で音声合成エンジンの研究開発から販売・サポートまでワンストップで行う専門メーカーです。提供する音声合成AITalk®は、コーパスベース音声合成方式を採用し、より人間らしく自然な音声で、自由に音声合成をすることができる音声合成エンジンです。

● 3つの特徴

① 豊富な話者

日本語話者は大人から子供まで男女15種類、関西弁にも対応。

② 感情表現も実現

使用するシチュエーションやご用途に合わせた喜怒哀楽の感情表現を実現。

③ 誰の声でも合成データに

芸能人や声優、自分の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換。

※1：プランにより収録文章数が異なり、また個人によって読上げスピードや読み間違い等があるため、収録時間に差があります。

※2：一般的に収録文章数が多いほど音質は向上します。ご用途によって最適な収録数・音声辞書作成方法をご提案いたします。

ホームページURL：<https://www.ai-j.jp/>

本社：東京都文京区西片1-15-15 KDX春日ビル10階

設立：2003年4月

事業内容：音声合成エンジン及び音声合成に関連するソリューションの提供

※掲載されている会社名・製品名・サービス名は各社の商標または登録商標です。

■ 本リリースに関するお問い合わせ

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

企画・教育部企画総務課総務係

Email：somu@ad.naist.jp

電話番号：0743-72-5004/5024

株式会社エーアイ 担当：藤本

Email：pr@ai-j.jp

電話番号：03-6801-8402